

RS-422A/RS-232C用通信レベル変換器 COM-100A 取扱説明書

＝お願い＝ この取扱説明書は、最終的に本製品をお使いになる方のお手元に届けられるようにお取り計らい下さい。

■ 型名コード

型 名	仕様コード	内 容
COM-100A	—□	RS-422A/RS-232C用 通信レベル変換器
取付方法	R	ラック取付けタイプ
	W	壁取付けタイプ

■ 取 付

1. 取付上の注意事項

次のような場所への取付けは避けて下さい。

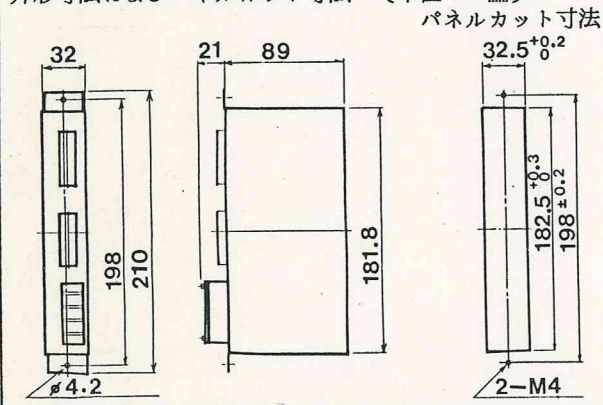
- ① 使用時の周囲温度が50℃以上または0℃以下の所。
- ② 塵埃の多い場所や腐食性ガスの発生する所。
- ③ 振動、衝撃の大きい所、冠水、被油のある所、または湿度の高い所。
- ④ 誘導障害の大きい所、その他電気回路に悪影響を与えると考えられる所。

2. 取付方法

ラック取付けタイプ (COM-100A-R)

- ① パネルカット寸法を参照して取付ける台数分のパネルをカットして下さい。
- ② パネルカット部に本器をパネル前面より埋め込みます。
- ③ 取付けねじ (M4×6セムスナベネジ) 2本を端子側から④ドライバーで締めつけて固定して下さい。
(取付けねじはお客様でご用意下さい。)

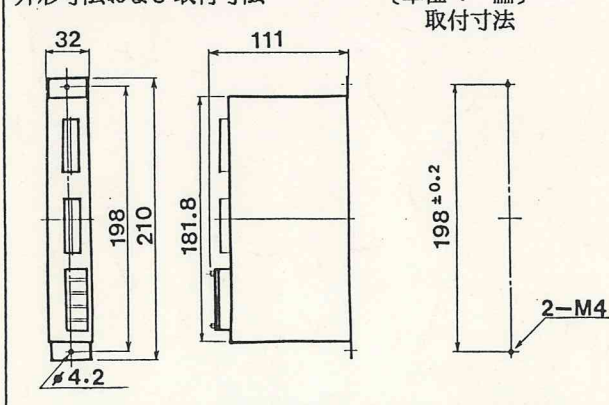
外形寸法およびパネルカット寸法 [単位: mm]



壁取付けタイプ (COM-100A-W)

- ① 取付寸法を参照して取付ける台数分の穴を開けて下さい。
- ② 取付けねじ (M4×6セムスナベネジ) 2本を端子側から④ドライバーで締めつけて固定して下さい。
(取付けねじはお客様でご用意下さい。)

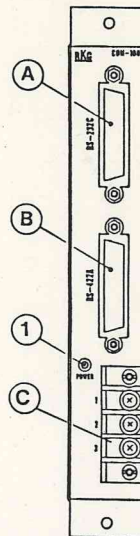
外形寸法および取付寸法 [単位: mm]



このたびはRS-422A/RS-232C用通信レベル変換器COM-100Aをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本計器がお手元に届きましたら、外観ならびに動作チェックを行い損傷のないことをご確認下さい。本説明書で指示のあるもの以外は決して動かさないで下さい。

尚、本計器は厳重な品質管理のもとに製作、出荷されておりますが、万一、不具合事項やお気付きの点がございましたら、当社営業担当者またはお買上げ代理店までご一報くださいますようお願い致します。

■ 各部の名称と端子の説明



端子プレート図

各部の名称

- ① 電源ランプ
- ② RS-232C通信用コネクタ
- ③ RS-422A通信用コネクタ
- ④ 端子

端子④の説明

端子	内 容
1	電源端子 AC 90 ~ 264V
2	(電源電圧変動を含む)
3	接地端子 G

■ 結 線

・ 結線を行う場合は、次のことにご注意ください。

1. 計器電源線は、ノイズの影響を避けるため、動力電源線からできるだけはなして結線して下さい。
2. 計器電源の配線は、ノイズ等による悪影響が考えられる場合はこれらを軽減するため、より合わせのピッチを短く取って下さい。
(より合わせのピッチが短い程ノイズに対し効果的です。)

・ 圧着端子について

圧着端子取付部のスペースは、7.4mm×11.3mmでM3のねじに適合する圧着端子をご利用下さい。

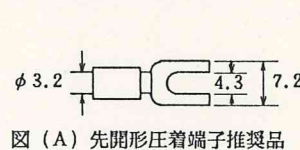


図 (A) 先開形圧着端子推奨品

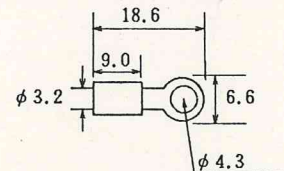


図 (B) 丸形圧着端子推奨品

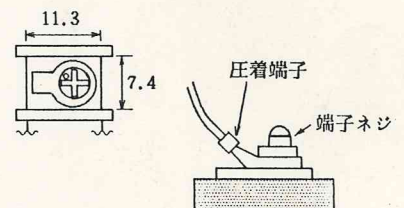


図 (C) 端子部結線

[単位: mm]

注意

1. やむをえず振動、衝撃の大きい所に計器を取付ける場合には、先開形圧着端子では端子から外れる危険性がありますので、必ず丸形圧着端子をご利用下さい。
2. 各圧着端子の推奨品の寸法は図(A)または図(B)を参照して下さい。
図(A) 先開形圧着端子 日本圧着端子製造(株) N1.25S4A
図(B) 丸形圧着端子 日本圧着端子製造(株) N1.25M4
3. 配線スペースが不足している場合には、上図(C)のように圧着端子を曲げて結線して下さい。

■ 接続方法

本計器はRS-232Cインターフェース装置とRS-422Aインターフェース装置との間の通信をサポートする機器です。他の計器との接続は付属品の通信コネクタをご使用下さい。

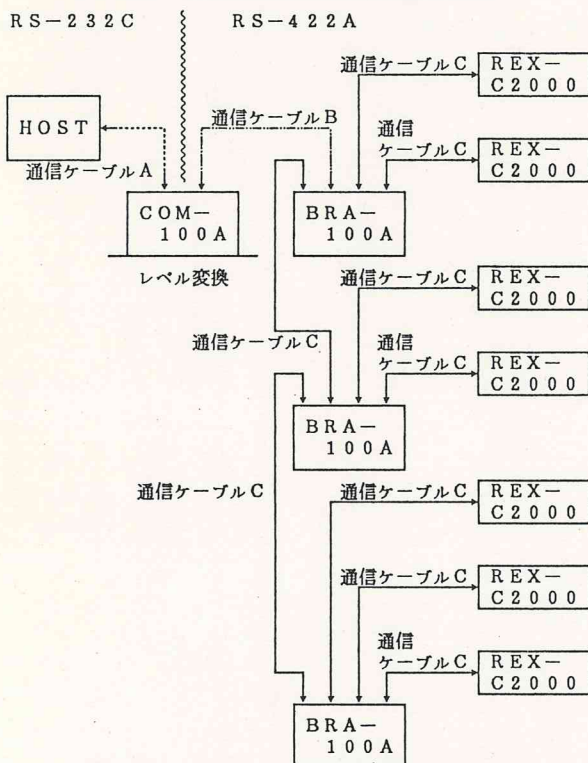
- ① 付属のプラグケースのねじをゆるめて、ケーブルを配線した付属のコネクタを入れ、ドライバーでねじを締めます。
(ケーブルはお客様でご用意下さい。接続ケーブルの項参照)
- ② 計器のコネクタ部(端子プレート図参照)に①のケーブルを接続した通信コネクタを差し込みます。
- ③ 差し込んだ後、通信コネクタの上下2つのねじをドライバーで締めて固定します。

付属品：

コネクタ …… HDBB-25P (ヒロセ電機製相当品)
プラグケース … HDB-CTF (ヒロセ電機製相当品)

■ 接続ケーブル

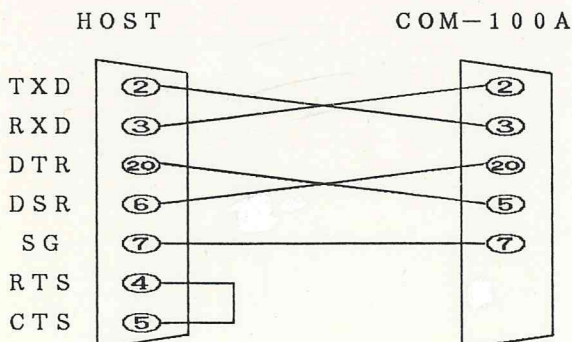
当社計器マイコン内蔵DDCマルチコントローラ“REX-C2000”と通信バスライン中継分岐ボックス“BRA-100A”を使用した場合の接続例です。



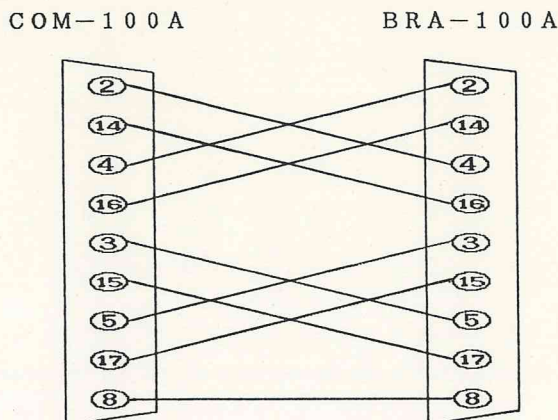
- 通信ケーブル A (RS-232C用クロス接続)
----- 通信ケーブル B (RS-422A用クロス接続)
——— 通信ケーブル C (RS-422A用平行接続)

RS-422A(EIA規格準拠)による通信機能を装備しているREX-C2000は最大7台まで接続が可能です。使用するホストコンピュータのインターフェースがRS-232CなのでCOM-100AによりRS-422Aに変換します。さらに、BRA-100Aで分岐しますとCOM-100AとBRA-100Aとの間で伝送距離をある程度延長することができ、またREX-C2000のマルチドロップ接続が可能となります。

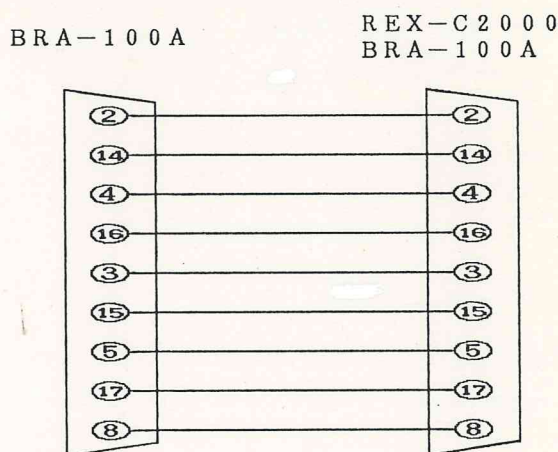
1. 通信ケーブル A (RS-232C用クロス接続)



2. 通信ケーブル B (RS-422A用クロス接続)

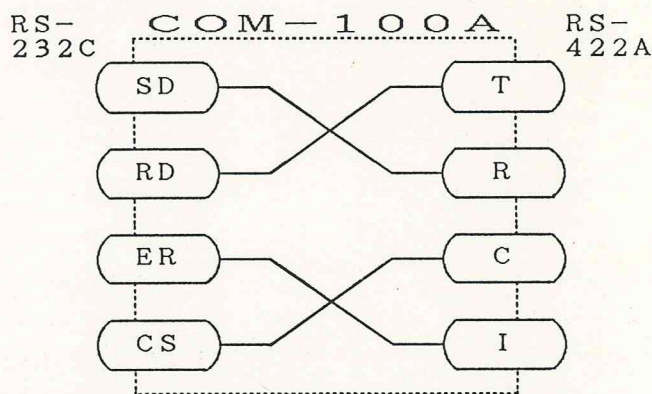


3. 通信ケーブル C (RS-422A用平行接続)



■ 内部接続

本計器の内部では信号がクロス接続になっています。



※ 当社計器REX-C2000およびBRA-100Aの詳細は当社カタログ等をご覧下さい。

記載内容は、改良のため断りなく変更することがあります。ご了承ください。

RKC 理化学工業株式会社

本社 ☎03(751)8111 千146 東京都大田区久が原5-16-6
TELEX (246)8818 FAX 03(754)3316
北関東営業所 ☎0296(48)1121 千300-35 茨城県結城郡八千代町佐野
名古屋営業所 ☎052(524)6105 千451 名古屋市西区浅間1-1-20 クラウチビル
大阪営業所 ☎06(322)8813 千533 大阪市東淀川区東中島1-18-5 新大阪九ビル
広島出張所 ☎082(245)8850 千730 広島市中区国泰寺町1丁目5番1号 広島事務ビル
茨城事業所 ☎0296(48)1121 千300-35 茨城県結城郡八千代町佐野
FAX 0296(49)2839

IMCOM02-J3

NOVEMBER 1986